

## 2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
理科	生物基礎(A)	2		本校教員・スクーリング講師
指導目標				
<small>・日常生活や社会との関連を回りながら生物や生物現象への興味・関心を高める。                  ・DNAなど現代生物学の基盤となる内容、ホルモンや免疫など健康にかかわる内容、生態系など環境の科学的な理解に資する内容 について学ぶことを通し、学んだことを生活や将来に活かしていく。</small>				
教科書名	高等学校 新生物基礎	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 12 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 8 時間	メディア減免時数	4時間	
定期試験	あり	年間・学期 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	生物の特徴	5月10日
2	遺伝子とその働き①	5月25日
3	遺伝子とその働き②	6月10日
4	ヒトのからだの調節①	6月25日
5	ヒトのからだの調節②	7月10日
6	生物の多様性と生態系	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	生物にみられる共通性、生物の共通性の由来、細胞構造の共通性	4月11日
2	エネルギーと代謝、代謝とATP、代謝と酵素、光合成と呼吸	4月25日
3	染色体・DNA・遺伝子、DNAの構造	5月10日
4	DNAの複製、DNAの分配	5月13日
5	タンパク質の構造と働き、遺伝子の発見とタンパク質合成	5月17日
6	細胞と遺伝子の働き	5月30日
7	恒常性と情報の伝達、神経系、自律神経系の働き	6月3日
8	ホルモンの働き、血糖濃度の調整、体温の調整、からだの調整と血液の働き	6月20日
9	病原体から体を守るしくみ、自然免疫、獲得免疫のしくみ、獲得免疫の特徴	7月1日
10	免疫と疾病、免疫と医療	7月4日
11	さまざまな植生、植物と環境、植生と遷移と環境、植生の破壊と遷移、繊維とバイオーム、日本のバイオームと気候	7月12日
12	生態系、生物どうしの関係、生物どうしの関係と種の多様性、生態系のバランスと攪乱、人間活動による生物の持ち込み	7月19日

メディア減免 視聴メディアおよび視聴項目		
配信回数	学習内容	視聴時期の目安
1	生物の共通性	

2	生物とエネルギー	4月1日～4月30日
3	学習のまとめ①	
4	遺伝情報とDNA	
5	学習のまとめ②	5月1日～5月31日
6	遺伝情報とタンパク質の合成	
7	学習のまとめ③	
8	体の調整と情報の伝達	6月1日～6月30日
9	学習のまとめ④	
10	免疫	
11	学習のまとめ⑤	
12	植生と遷移	7月1日～7月31日
13	生態系とその保全	
14	学習のまとめ⑥	

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月25・26日